

企業ニュース SHOEI

(東証1部 : 7839) <https://www.shoei.com>

作成者: 奥村義弘

二輪車用プレミアムヘルメットメーカー

1959年、ポリエステル加工を目的に設立。1960年、二輪車用ヘルメットの生産に着手。1998年に現在の商号に変更。国内外で高い評価を誇るプレミアムヘルメットのグローバルカンパニー。メイドインジャパンにこだわるが、販売網は世界50カ国以上を網羅し、プレミアムヘルメットの分野で「SHOEI」は、ほとんど全ての国でシェアNo. 1。21.9期の地域別売上高構成比は、日本21%、フランス9%、ドイツ11%、その他欧州23%、米国10%、その他北米1%、中国18%、その他アジア4%、その他3%。



需要は引き続き好調、高水準の受注残

21.9期の連結業績は売上高が238億円、前期比22%増、営業利益が60億円、同27%増。販売地域別売上高では、中国が41億円、同88%増とけん引した。最大市場の欧州が102億円、同11%増、日本が50億円、同11%増、北米が27億円、同34%増、その他が17億円、同11%増。日本では、二輪車需要が漸増、特別定額給付金の恩恵、ライダーの高齢化に伴う高級モデルへの移行や買い増しの動きなどで堅調であった。北米では、前期に実施した主力代理店の経営刷新や在庫調整の一巡に加え、新モデルがヒットした。中国では、品質やブランド力が評価された。

22.9期の通期会社計画は売上高が264億円、前期比11%増、営業利益が66億円、同10%増。21年9月末の受注残は約220億円と、22.9期の生産枠はほぼ埋まっている。今期の生産は77万個と前期の68万個から増やす計画だが、さらなる能力増強に向け土地等の手当を進めている。今期は新たな変異株の拡散など下ぶれリスクは残るが、経済活動は期中に19.9期レベルまで回復するとみている。地域別販売状況では、欧州が堅調さを継続、その他地域も堅調あるいは回復基調をたどるとみる。中国は減少を計画するが、生産ひっ迫の中、中国代理店側の発注が遅れたため実需は良好で過度な懸念は不要であろう。

[株価動向・投資判断]

ニッチ・高シェアな商品を有する企業として関心を集めよう。財務体質が良好で、高収益率企業である点も魅力。

<7839 SHOEI 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.9	19,479 (5)	4,740 (13)	4,746 (14)	3,348 (14)	123.9	62.00
21.9	23,752 (22)	6,024 (27)	6,092 (28)	4,407 (32)	164.2	82.00
22.9 予	26,430 (11)	6,620 (10)	6,630 (9)	4,720 (7)	176.0	88.00



[主要株価指標]		(売買単位: 100株)
株価 (2021/12/3)		4,800 円
年初来高値 (高値日)		5,410 円 (21/9/14)
同 安値 (安値日)		3,730 円 (21/6/11)
予想 P E R (22.9 予)		27.3 倍
1株株主資本 (PBR算出用)		690.9 円
P B R		6.95 倍
予想配当利回り		1.83 %
(1株当たり配当金 88.00円)		
R O E (21.9)		25.8 %
発行済み株式数		2,686 万株